



特集 6

あなたの住む町からの情報発信への取組

2.9 防災・災害時のICT

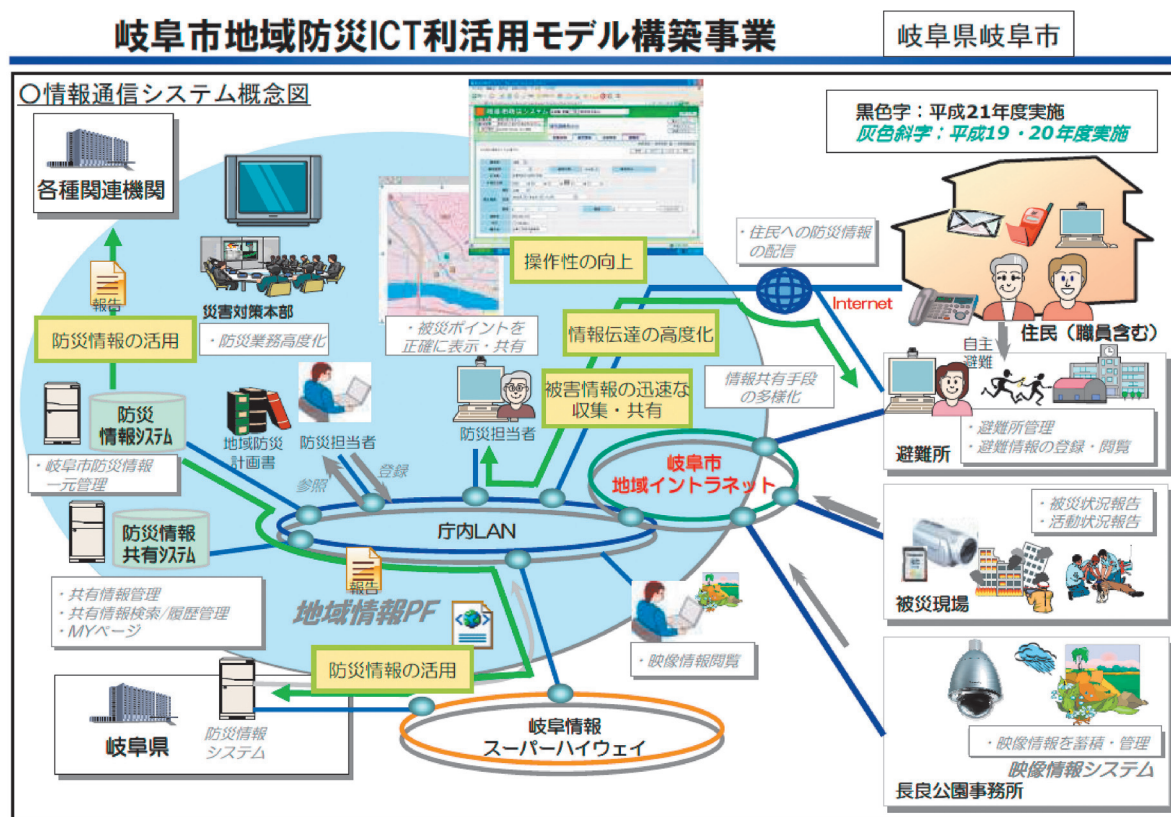
2.9.1 岐阜市総合防災情報システム(岐阜県岐阜市)

〔概要〕

岐阜市は、総合計画(愛称:ぎふ躍動プラン・21)における将来都市像として「安心して暮らせる都市」の実現を目指し、災害情報を迅速・的確に収集・一元管理し、庁内、出先機関、避難所等との防災情報を共有する、岐阜市総合防災情報システムを構築した。このシステムについて、災害時や防災訓練などにおける活用を通して、より効果的な機能の拡張に取り組んでいる。

〔コラム〕

岐阜市の中央を流れる長良川は、1300年の歴史を持つ難銅で知られており、憩いの場として親しまれているが、濃尾平野を流れる天井川となっており、ひとたび水害ということになると、大変危険な河川となるため、市民は水害に対する意識を強く持っています。昭和51年9.12災害では、3日間続いた集中豪雨により河川が増水、いたるところで内水被害が起こり、岐阜市内では、死者5人、負傷者7人、床上浸水11,363世帯(棟)などの被害を記録、岐阜県最大の水害となり、多くの市民の記憶に残っているところです。また、明治24年10月28日に発生した濃尾大地震は、直下型の地震としては国内最大のM8.0といわれており、朝方に発生したため、食事の支度の時間と重なり、多くの火災が発生し、7,273人の死者と、14万棟を超える全壊・全焼家屋が発生しました。さらに、東海地震、東南海地震、南海地震の発生も危惧される本市においては、総合防災対策の充実強化として、防災行政無線の整備、災害時要援護者支援対策、地域防災コミュニティ計画の策定などの取り組みを進めるとともに、平成19年度から21年度にかけて、総務省の「地域ICT利活用モデル構築事業」の採択を受け、岐阜市総合防災情報システムの構築を実施しました。具体的には、岐阜市内50箇所を設置される地域災害対策本部、避難所や被災地の情報が、岐阜市の地域イントラネットや庁内LANを通じて岐阜市の災害対策本部に全て集まってくる仕組みを構築したほか、携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録した職員や市民に対して、災害情報を発信するシステム、岐阜情報スーパーハイウェイ網などを活用して、岐阜県や他の市町村と岐阜市が情報を共有するシステム、大規模都市公園に定点カメラを設置し、平常時には公園の管理や防犯対策に利用し、災害時には集合する避難者や、仮設住宅の状況を把握するシステムを構築しました。システムの構築にあたっては、災害対策基本法に基づく「岐阜市地域防災計画」に規定する業務の流れを把握して、その流れに沿ったシステム構築を実施したほか、市民生活部所管の住民基本台帳データや、福祉部所管の災害時要援護者データなど、庁内の他部署で管理しているデータとの連携や、岐阜県の進める統合型GIS(地理情報システム)と連携するため、所要の手続きなどを経ながら構築を実施しています。また、システム構築以来、このシステムを操作する災害対策本部詰め職員や地域派遣職員に対して毎年操作研修や説明会を実施しているほか、岐阜市総合防災訓練においてもシステム操作訓練を実施し、災害時に備えているところです。



【岐阜市総合防災情報システムのイメージ図】

平成 23年度には、全庁的なシステム最適化に伴うWebブラウザの変更への対応や、東日本大震災の発生を踏まえた、広域災害に対応した防災対策の見直しにあわせた、罹災証明の発行業務の効率化や、市民向け情報配信の強化のため、システムの拡張に取り組んでいるところです。

〔制作費及び運用費(内公的な補助額)〕

H19実績額	95,360,165円(95,360,165円)
H20実績額	51,273,504円(51,273,504円)
H21実績額	38,995,328円(38,995,328円)
H22実績額	12,428,328円(0円)
H23予算額	25,437,340円(0円)

(問い合わせ先)

岐阜市 都市防災部 防災対策課

岐阜市今沢町18番地

TEL:058-265-4141(内線4142)

FAX:058-265-3857

e-mail:boutai@city.gifu.gifu.jp

URL:<http://www.city.gifu.lg.jp/c/40121838/40121838.html>